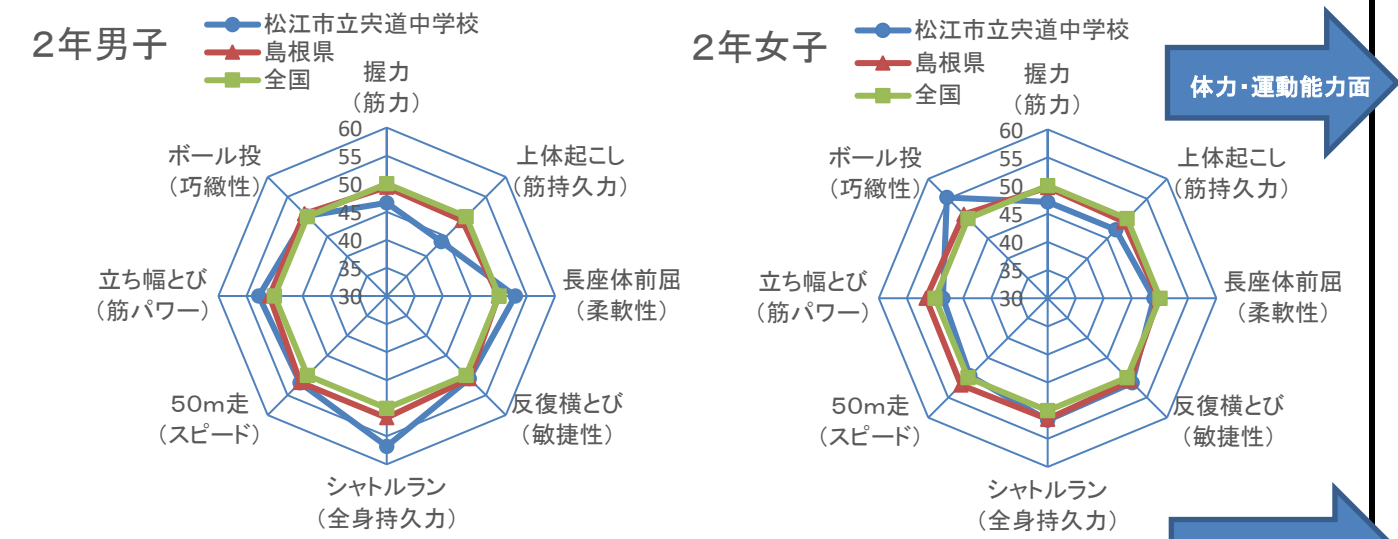
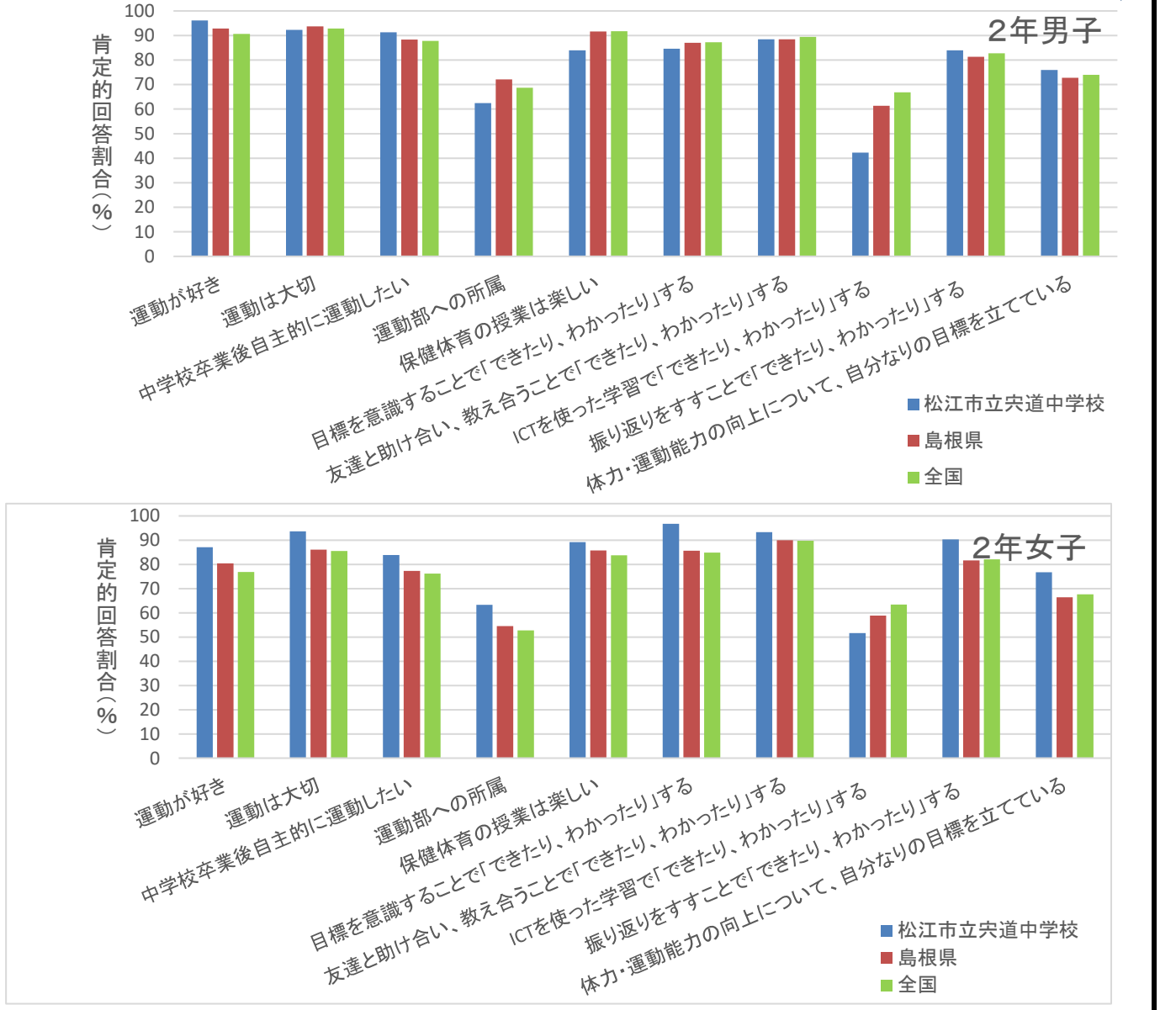


(1) 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力 (筋力)	上体起こし (筋持久力)	長座体前屈 (柔軟性)	反復横とび (敏捷性)	シャトルラン (全身持久力)	50m走 (スピード)	立ち幅とび (筋パワー)	ボール投 (巧緻性)
男子	-3.4	-6.3	2.9	0.8	6.8	1.9	2.8	0.2
女子	-2.9	-2.8	-1.1	1.3	1.7	-0.5	-1.4	5.3

【-5p以上】 【-5~-2p】 【-2~0p】 【0~2p】 【2~5p】 【5p以上】
弱み ← → 強み

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	運動は大切	中学校卒業後自主的に運動したい	運動部への所属	保健体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い、教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する
男子	5.5	-0.6	3.5	-6.2	-7.7	-2.7	-0.9	-24.5
女子	10.2	8.1	7.7	10.6	5.4	11.9	3.6	-11.8
	振り返りをすることで「できたり、わかったり」する	体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている						
男子	1.2	2.0						
女子	8.2	9.1						

【-7%以上】 【-7~-3%】 【-3~0%】 【0~3%】 【3~7%】 【7%以上】
弱み ← → 強み

(3) 令和7年度の方針【学校全体での取組】

＜令和6年度の成果＞
○以下の結果より、本年度設定した目標の手立てについて、一定程度効果があったと考えられる。
・男子は、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳びで全国平均、県平均を上回った。女子は、反復横とび、20mシャトルラン、ハンドボール投げで全国平均、県平均を上回った。
・「保健体育の授業は楽しいですか。」男子84.0%、女子89.2%が肯定的に回答している。
・「保健体育の授業で、目標(ねらい・めあて)を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがあります。」男子84.6%、女子96.8%が肯定的に回答している。

＜令和6年度の課題＞
●以下の結果より、男女とも筋力・筋持久力に課題がある。そのため、保健体育の授業の中に筋力トレーニング要素を入れることが望ましいと考えられる。また、女子は食事や睡眠が運動能力に関係があると考えられる。来年度までに詳細を調査し、生徒の実態に即した食事や睡眠の改善方法を検討する。
・男子は、握力、上体起こしで全国平均、県平均を下回った。女子は、握力、上体起こし、長座体前屈、50m走、立ち幅とびで全国平均、県平均を下回った。
・「朝食は毎日食べますか。」女子・食べない日がある22.6%、食べない日が多い9.7%と全国平均、県平均を上回った。
・「毎日どのくらい寝ていますか。」女子・6時間未満22.6%と全国平均、県平均を上回った。
●以下の結果より、男女ともICTを活用した授業の効果が十分に感じられていないと考える。
・「保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがあります。」男子42.3%女子61.3%

＜令和7年度の方針＞
・保健体育の授業に筋力・筋持久力トレーニングの要素を導入する。
・生徒たちの食事、睡眠について調査し、食事と睡眠が運動能力に関わりがあることを保健内容で指導する。
・ICTを活用した授業を積極的に取り入れるとともに、生徒たちが効果的に活用できるよう指導する。